

Link



一般質問の録画

Question

市長の政治姿勢、 立ち位置を問う

Answer

市長／任期中に、
ふるさと寄附金 30 億円は達成したい



竹田市長の政治姿勢と
立ち位置

問 副市長は何人登用か。

市長 2人を登用したい。

問 無所属で立候補されたが、自民党に所属か。

市長 自民党には所属していない。

問 市民の立場で、国、県にモノが言えるか。

市長 市民の立場で、しっかりと要望したい。

問 所信表明のふるさと寄附金30億円を問う。

市長 任期中に達成したい。今後、議会に計画を示したい。

五位塚市政の継続、
あるいは非継続

問 主要施策の考え方を問う。

市長 子ども医療費、学校給食、保育料の無料化、敬老祝金の全員支給は続けたい。地域新興住宅の段階的縮小は、宅地造成、空き家対策と並行して進めたい。高齢者の補聴器購入補助の引上げは、前向きに検討したい。末吉メセナ温泉の改修は段階的に進めたい。財部温泉の改修は入浴料の見直しを行う中で進めたい。いずれも民間に頼らず進めたい。末吉小の改築は、当初の計画に沿って進めたい。学びの学校の取組を尊重したい。郷土史改訂は、新年度職員を1人増員したい。

8月8日の大雨災害の
対策と教訓

問 私は早朝の5時過ぎに岩南の浸水地区に行ったが職員の姿はなく、竹田市長に職員の急派を要請した。市の対応が弱かったのではないか。

市長 二次災害の恐れがあり、情報収集に努めるという判断をしたが、初動体制に遅れがあったことを反省している。その後の庁議で、初動体制の在り方について職員に徹底させるよう指示した。



増水で池となった岩南地区



菱田川の前田橋付近

ちょっと
ひとりごと

市民生活を守る立場で、
国、県にはしっかりと
モノを言ってほしい。





Question

8月8日の豪雨被害の原因は

Answer

市長／河川の逆流等考えられるが、
県と協力して原因の調査中である

Link



一般質問の録画

8月8日の豪雨災害

問 今回氾濫した河川の管理者は県であるが、県の当局者の対応は。

市長 8月20日に大隅地域振興局の建設部長が参加の下、県と市で協力しながら対応策を講じたいと意見があった。

問 原因が分からなければ、対応策も打てない。原因究明の後は議会側にも情報共有を求めるが。

土木課長 9月末にも県の担当者と会合があるので、判明すれば議会にも示したい。

ふるさと寄附金

問 竹田市長が担当課長だった時代に20億円あったふるさと納税は13億円まで下がっている。顧客が逃げているという事であり、アフターフォローが足りていないのでは。

商工観光課長 アフターフォローが完全にできていないが、返礼品の調理法や寄附金の使い道について、ふるさと納税サイトや市のホームページに掲載している。

問 返礼品のお礼状の中に、自治体の子育て支援や魅力について織り込めば自治体PRにも繋がり一石二鳥ではないか。

市長 返礼品の中に手書きでメモを入れる事業者が業績を伸ばすこともあった。そのよう

な形で真心を示すことも重要であると考えている。



曾於市は日本に誇る肉のまち
ふるさと寄附金30億円は
きっと達成できます！

曾於市鳥獣被害防止計画

問 大隅を中心に猿の群れが出没し、被害が出ているがどのような状況か。

農政課長 甘藷、スイカ、イチゴの被害などが報告されている。

問 報告によれば令和5年に一頭が捕獲されたのみであり、猿捕獲の報奨金1万5千円の引上げを検討してはどうか。

ちょっと
ひとりごと

災害を防ぐことは
政治・行政の役割の
一丁目一番地！



岩川の市街地にも堂々と出没しています

農政課長 大崎町では2万5千円、鹿屋市では2万8千円の事もあり、報奨金の見直しの協議は必要だと考えている。

Link



一般質問の録画

Question

災害復旧は心のケアも迅速に

Answer

市長／原状回復と心のケアも急ぐ



災害対策

問 以前、前川で災害が発生した際の復旧状況は。

市長 排水路の整備等をした。

問 今回（8月8日の豪雨災害）の原因と対策は。

市長 河川増水に伴う逆流と思われるので、県と協議を重ねており早く対応する。

問 被災者への心のケアを含めて、対応は十分にされたか。

市長 保健師と全戸訪問し、健康確認、消毒等をした。

問 定期的に寄州などを早めに除去する考えは。

市長 県に早めに要望を出して行う。

問 指定避難所だけでなく届出避難所の周知と設置増を望むが。

市長 周知を図り検討する。

農業振興策

問 農業振興策については。

市長 畜産、園芸、茶業等も各事業を使い、経営の安定化と新規就農者支援事業の見直しをして振興に取り組む。

問 水稻作付けで、箱苗や代かきをせずに直接種まきする乾田直播の勧め方は。

市長 作業省力化やコスト削減が図られるので、乾田直播を普及させるには研究しながら



9月5日コンバインで収穫



収穫直前の稲穂



4月19日種籾を直接ばらまき
6月10日雑草なし！！

検討する。

問 外国人技能実習生、就業者へのサポートの在り方と、今後の支援策の考えは。

市長 慢性的な人手不足と雇用者の負担軽減を図るために各方面と連携し窓口の一本化を図る。

問 農業公社で雇い入れして、農家は必要なときだけ雇用すれば、経費削減に繋がるが。

市長 そのような考えもある。

ちょっとひとごと

食べなきゃ
生きられない
省力化で増産・・・
再生可能な
政策支援を





ひさなが とらお
久長 登良男
(新生会)

Question

市長の政治姿勢は

Answer

市長／市民の皆様の声に耳を傾け、
市民の皆様の声をしっかりと市政に活かし、
市民の皆様が主役のまちづくりに努める

Link



一般質問の録画

市長の政治姿勢

問 大政治家は、魂の公約を掲げ信念を貫かれています。このことをどのようにとらえているか。

市長 地元選出の国会議員の先生方の政治信念に大変感銘を受けており、この信念を胸に市政運営に取り組んでいく。

財部温泉健康センター

問 財部温泉健康センターの今後の基本的な考え方は。

市長 指定管理者と協議した上で、赤字解消に向けての取組を行う。施設の設置目的確認や利用状況などの把握から、市民生活にとって必要な施設の在り方を

考えていく。民間への無償譲渡は考えていない。



財部温泉健康センター

財部のまちの振興対策

問 財部のまちの振興対策は。

市長 市街地の活性化については、将来的な開発構想を持ち計画を作成し、段階的に市街地整備を行う必要がある。今後、市街地の活性化へ向けた計画を検討する。

問 旧財部支所庁舎跡地の考えは。

市長 市有地や空き家の状況と一体的に考えて計画を作成し、その中で跡地の利用を考えている。



財部支所周辺の市有地

問 県道都城隼人線の道路改良整備は。

市長 幅員が狭く大型車同士の離合が困難な箇所がある。道路管理者は県であるが、市として今後も引き続き県に要望を行っていく。

財部城山公園整備

問 財部城山公園整備の必要は。

市長 園路や施設の補修が必要な場合は、予算を計上し、修繕を行っていく。今後も適切な維持管理に努める。

ちょっと
ひとりごと

曾於市に
寄ってみたい、
行ってみたい、
住んでみたい、
まちを作ろう



Link



一般質問の録画

Question

廃業予定者と新規就業・就農予定者
とのマッチングはできないか

Answer

市長／市やJA、商工会と情報共有して
マッチングしていきたい



大雨災害

問 避難場所への備蓄食等の提供の流れは。

市長 避難所における食事等については原則本人調達である。しかし、地震災害など大規模災害により、避難所生活が長期化する場合は市の備蓄品の供給を行う。

問 備蓄食の保管場所は。

総務課長 大隅町の備蓄倉庫と市役所本庁の2箇所である。

問 夜間、急きょ避難を要する場合、非常食を用意する時間はない。また、高齢者や足の不自由な方は買い物に行くことができず、地震などで交通網が遮断されるかもしれない。避難所にも備蓄食を用意できないか。

総務課長 備蓄食の保管方法にもよるので、協議したい。



保管されている備蓄食

問 大規模災害で断水が発生すると、生活用水が重要になる。道路が寸断されると、特に人口が少ない地区は復旧に時間がかかる。以前、質問した手掘り式井戸を検討してみてもいいか。

市長 給水車の要請については、市長会で意見が出た。手掘り式井戸がどういふものか分からないので、研究したい。

市長の公約

問 公約のふるさと納税30億円だが、企業が高校生や中学生とコラボして返礼品を考案してみている。曾於高校や末吉・岩川・財部高校の卒業生が応援するのは、企業と高校生が一緒にあって開発するのは素晴らしいアイデアなので、模索していきたい。

市長 企業と高校生が一緒にあって開発するのは素晴らしいアイデアなので、模索していきたい。



三重県の高校生と企業のコラボ商品

問 ある方から、市に連絡をして空き家バンクに登録されている空き家を見学した際、管理が行き届いていない場所を見せられたと話

があった。市のイメージダウンになるのでは。

市長 問合せがあった時点で、管理者や不動産に内見日時の連絡を入れた。

問 新規就農では初期投資が大きい。廃業予定の農家とマッチングして費用を抑えたり、助成金の前倒しはできないか。

市長 国の助成金もある。市の助成金は実績ができてからというところで、就農してから1年を経過してから申請である。自己資金は必要である。

ちょっと
ひとりごと

新規就業・就農と
空き家対策は
セットで
取り組めそう





Question

30億円を目指しての
新たな取組は

Answer

市長／新たな魅力的な返礼品の開発、効果的な広告などを積極的に進め、任期期間中に目標を達成したい

Link



一般質問の録画

市長の所信表明

問 ふるさと納税のポータルサイトのポイント制度が中止になるが、影響は。

商工観光課長 9月でポイント制度が廃止になるので、駆け込みでふるさと納税の件数が増える可能性がある。返礼品の対応のため、準備している。

問 人口減少対策（雇用の創出・子育て支援）は。

市長 企業誘致のため、高規格道路の優位性を見据えた工業団地造成が必要だと考えている。子育て支援のため、子ども医療費や学校給食費の無償化を継続し、乳幼児のおむつ等支援、小・中学校の入学おめでとう祝金制度の創設

も考えている。

問 外国人技能実習生のサポート窓口の一本化はどのように考えているか。

市長 農業を含め慢性的な人手不足であることから、生産者、国・県、各種団体と連携しながら、労働者確保のためにサポート窓口を一本化し、雇用者の負担軽減のために支援を行う。

問 令和9年より、外国人技能実習制度が育成就労制度に変わる。今後、生産年齢人口は減少していく。介護事業・各種製造業・農業等の外国人労働者確保のため、市の情報提供やサポート支援が期待されるが。

市長 まずは監理団体・各種事業者等の実

態調査をして、市としてどのようなサポートができるか検討する。

危機管理

問 8月8日の豪雨による市内の浸水被害状況は。

市長 次のとおりである。

浸水被害を受けた市内の住宅
(単位:棟)

	末吉町	大隅町	財部町	合計
床上浸水	9	20	2	31
床下浸水	2	7	10	19
合計	11	27	12	50

令和7年8月25日現在

問 1時間当たりの降水量は。

総務課長 7日の午後

11時に49mm、8日午前4時に42・5mmであった。

問 大隅町の浸水被害は、以前もあった。今後も災害級の大雨となる可能性があるのか、住民の方は不安でたまらない状況である。早急に河床の掘下げ等を実施し、抜本的対策をすべきでは。

市長 県の振興局と原因を調査して、県・国に対策を要望していく。

自主財源確保のため
ふるさと納税の
増額を！

Link



一般質問の録画

Question

健全財政に向けての取組は

Answer

市長／「ふるさと納税 30 億円」を
任期期間中に実現する」



市長所信表明

8月7日からの大雨

問 返礼品については、

物価高騰により消費者
の動向の変化がある。

若手市職員の皆さんか
らのアイデアを募るな
ど、今までにない取組
が必要ではないか。

市長 あらゆる角度か
ら研究していく。

問 新規就農・起業者・
後継者支援強化策の年
齢制限撤廃は。

市長 55歳以下という
年齢制限を撤廃し、段
階的な支援額にしてい
く。来年度から実施で
きるように進める。

問 県管理の施設の災
害発生状況は。

市長 河川17件、砂防
水路1件の災害が発生
している。

問 旧大隅支所周辺の
浸水の要因として、菱
田川との合流点より上
流の寄州除去・河床の
定期的な整地不足や弥
五郎の里からの雨水の
集中、道路排水の前川
への出口に以前設置さ
れていた逆流防止施設
の欠落などが考えられ
る。県に支援の要望を
上げるだけではなく、
市としても、県技術士
会等に協力を要請し、
早急な調査と対策をす
る必要があるのでは。



浸水する旧大隅支所周辺



前川に接続する老朽化した排水口

市長 県と協議だけ
ではなく、調査を進め
たい。

ちょっと
ひとりごと

市長の政策実現に
向けて
邁進を強く願う



Question

聴覚障がい者や高齢で
耳の遠い方への防災情報は

Answer

市長・福祉介護課長／現在、主となる防災ラジオからの情報を認知する機能や機器はないが、課題として認識している

Link



一般質問の録画

災害福祉

問 耳の不自由なひとり暮らし高齢者の外部との連絡ツールは。

市長 市が設置する「緊急通報システム（サスケ）」があるが、災害時に適切に使用できるかなどの課題がある。

問 避難所における女性や子ども特有の問題への配慮は。

市長 プライバシーの確保に努め、女性の相談窓口開設や専用物資の配布を講ずる。

手話の普及

問 普及が進まない原因は。

市長 利用の場の不足、市民全体の意識がまだ十分に高まっていないためである。

問 手話通訳者等の不足への対策は。

足への対策は。

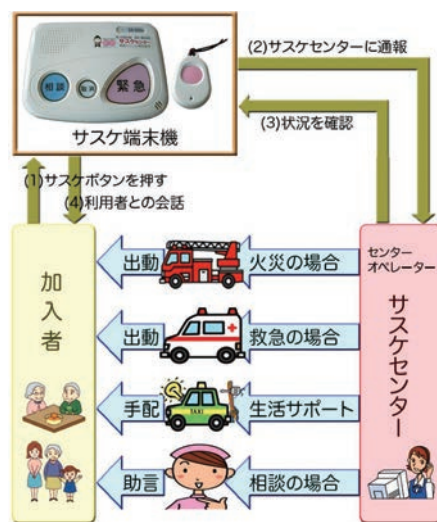
市長 手話奉仕員養成講習会を継続的に開催し、手話通訳者を目指す方向けの講座も計画していきたい。

問 普及のための今後の取組は。

福祉介護課長 市民向けアンケートを行い、障害者基本計画の策定に反映させたい。

教育環境

問 学校などの市所有の体育館への空調設備は。



緊急時や相談のあるときにボタンを押すだけで繋がる仕組み

教育長 大型扇風機や冷風扇はあるが、エアコンはない。避難所となる学校体育館は国の臨時特別交付金の対象で、大規模校の体育館を中心に令和15年度までに整備できないか検討している。それ以外の体育館施設は、利用者拡大及び防災の観点から検討が必要と考えている。

問 一部開始された学校プール授業の民間委託の今後は。

教育長 本年度、6つの小学校で実施し、天候に左右されず熱中症

の心配もないことや、プール管理等の職員の負担軽減に繋がったが、移動で指導時間が短くなるといった意見もあった。来年度から実施を希望する学校もあり、対象校を拡大する。

問 児童・生徒自身が主体性を持って意見を伝えられる取組は。

教育長 子どもたちの意見を尊重してより良い施策に繋げていく仕組みの構築と、子どもたちの意見を聴きながら改善を図るよう指導を行うことなど、法の基本理念に則った取組を推進していく。

ちょっと
ひとりごと

誰にとっても
安心・安全な
まちに

